

## 福島第二 再稼働「容易でない」 首相、廃炉は明言せず

安倍首相は6日の衆院予算委員会で、運転停止中の東京電力福島第二原発について、「再稼働は容易ではない」との認識を示した。最終的な判断は東電が行うものとも強調し、廃炉については明言を避けた。

福島第二原発は、事故を起した第一原発から南へ約12キロの距離にある。第二原発には4基あり、福島県の左藤雄平知事や県議会は「再稼働は住民の理解が無ければ難しい。被災者がいる

安全が確保されても、再稼働は住民の理解が無ければ難しい。被災者がいる」と述べた。

東電が昨年2月、国会事故調査委員会に「真の暗」と虚偽の説明をして第一原発1号機の現地調査を妨げた問題では、茂木経産相は「国会事故調の調査が行われなかったのは事実。今後、国会事故調などが追加で調査した場合、東電に最大限協力するよう指導したい」と答弁した。

一方、虚偽説明問題を受けて東電がつくった第三者検証委員会が、組織的な関与はなく、説明者個人の誤った判断と結論づけたこと

に、茂木氏は「適正な検証」と評価した。

これに対し、参考人として答弁した元国会事故調委員の田中三彦氏は「現地調査が事故原因の究明にとって重要なことは東電も感じていたはず。説明者個人が許可するしない、という話ではない」と述べ、組織的に妨害されたとの見解を述べた。いずれも、民主党の長妻昭氏の質問に答えた。